

薪ストーブ 震災時の対応マニュアル



備えておきたいもの

薪ストーブの設置場所に消火用品を備えておくといざというときに役に立ちます。

- ・粉末消火器
- ・乾燥砂

震災時の対応

1. あわてずに身の安全を確保してください
2. 揺れがおさまったら薪ストーブの空気口を絞ってください
3. 燃えやすいものをストーブから離してください

※燃焼中の薪ストーブには絶対に水を掛けないでください。大変危険です。

※絶対に素手で本体を触らないでください。

火災の危険がある場合

揺れがおさまってから、粉末消火器、または炉内に乾燥砂を被せて消火を行ってください。

燃焼中の薪ストーブには絶対に水を掛けないでください。大変危険です。

震災後の対応

1. 薪ストーブ本体の損傷（ひび割れ、ゆがみ、ガラスの破損、脚の破損など）、ビス・ナット類の緩み、薪ストーブ本体の位置ずれをチェックし、問題がないことを確認してください
2. 煙突の壁貫通部、屋根貫通部、隠ぺい箇所に問題がないことを確認してください
3. 煙突の変形、外れがないかチェックし、問題がないことを確認してください

※問題が確認された場合は薪ストーブを使用しないでください。

4. 震災情報を確認し、余震がおさまるまでは使用を差し控えてください